

就職するならあかし！



大蔵海岸



明石公園



魚の棚



天文学館



住吉公園



林崎～松江海岸



江井ヶ島海岸と周辺



織田家長屋門



中崎のペランダ護岸



二見港と周辺

あかし市



明石市

AKASHI CITY

明石の技術職員を徹底解説

国でもない。。県でもない。。市役所で働く公務員って・・・

「市民」に最も近く、寄り添いながら、「明石」をよりよくし、「住みたいまち、住み続けたいまち」として、安心や快適を提供し、「市民」に喜んでもらえる様々な仕事をしています。

喜んでもらえる様々な仕事って・・・

市民の暮らしを直接支えている公務員のうち、技術を専門とする公務員は「技術職員」と呼ばれ、「土木」・「建築」・「電気・機械」・「環境化学」の技術職として採用されます。各職種の紹介は別のリーフレットで詳しく紹介しています。

技術職員のやりがいや魅力って・・・

- ①明石市民のために貢献する！といった働く目的が明確です！
- ②大小様々な事業やプロジェクトに挑戦できます！
- ③仕事の成果で「明石をいい方向に変えた！」と実感できます！
- ④達成の喜びは市民をはじめ関係する多くの方と共有できます！

はじめての仕事・・・不安があるのだけれど・・・

明石市では新規採用職員をサポートする「指導担当者(エルダー職員)」が選任されます。所属の上司が新規採用職員の指導にあたることは当然のことですが、常時、直接指導できるとは限りませんので、主に指導や相談を行うエルダー職員に日々の仕事や市役所内部の活動をサポートする仕組みを作っています。

また、「設計」や「工事」を担当する若手職員を対象に、技術的な経験やノウハウが少ないといった不安をなくすため、「技術支援の体制」も整っており、知識や経験不足を全く気にすることはありません。

残業は多いのですか・・・それと、休日出勤は多いのですか・・・

原則、「定時退庁」に努めていますが、残業をしなければならないことはあります。なお、毎週水曜日は「ノー残業DAY」で全ての職員が定時退庁するような取り組みが行われています。

原則、「休日出勤」はありません。職場により出勤日は異なりますが、「週休2日」の職場です。

明石市外で働くことはあるのですか・・・

原則、明石市内にある「市役所」をはじめ、出先も含めた「公共施設等」での勤務となります。

一方、全国規模で発生している「地震」や「風水害等」による「被災地の復興支援」については、被災地の状況を考慮し、さらに本人の希望も確認しながら、1週間から半年程度(最長1年)を「被災地にて勤務する」こともあります。

また、新しい事業を立ち上げたりする際に、その事業についての専門知識を習得するため、「国」や「県」など、市外で仕事に従事することもあります。

1日の仕事のスケジュールはどんな感じ・・・

1日の仕事のスケジュールは、配属される職場によって多少異なりますが、概ね以下のような1日です。



設計や工事等を担当する部署



審査・申請窓口等を担当する部署



施設の維持管理等を担当する部署

明石市で働くことの魅力はどこにあるのですか・・・

明石市は「住みたい、住み続けたいまち」の実現をめざし、平成30年4月に中核市へ移行し、より一層の権限と責任を持って、**子どもから高齢者、障害者まで誰にも「やさしいまちづくり」**を推進しています。この方向性は国際社会の持続可能な開発目標 **SDGsの「誰一人取り残さない」**という基本理念に合致しています。

このような中、明石市では「施策展開の3つの視点」として、以下のように取り組むことにより、まちの好循環の維持・拡大を図りますが、**「技術職員はその全てに関わり、力を発揮」**しています。

①“いつまでも”

2019年度の市制施行100周年を契機に、明石市の魅力の創造・発信などを通じた、定住人口や交流人口の増加を図り、まちの賑わいづくり、まちの好循環の維持・拡大による持続可能な発展を目指します。

②“みんなで助け合う”

市民・団体・事業者とのパートナーシップのもと、地域みんなで支えあい、誰一人取り残されることなく住み慣れたまちで安心して暮らし続けられるよう、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、すべての市民に寄り添う施策を重点的に展開します。

③“ハートも大事、ハードも大事”

ソフト事業の推進に加え、将来にわたり、安全・安心な暮らしを支える、快適で利便性の高い都市空間づくりも進めていきます。



規制・指導や測定等を担当する部署

先輩方はなぜ明石市で働くことをえらんだのですか・・・

先輩職員からの貴重な意見？

- ★大きすぎず、小さすぎないまち
- ★発展し続けているイメージが良い
- ★通勤の利便性
- ★親からの勧め
- ★明石で生まれ育った(地元)
- ★職員採用ポスターのインパクト
- ★明石市以外も検討していたが、面接や事前の採用説明会の職員の対応のよさで決めた
- ★将来も転勤がなく、妻の実家に近い
- ★民間と並行で考えていたが先輩職員の仕事に対する姿勢が魅力的に感じた(現場体感ツアーの感想)
- ★大学訪問していただいた際の説明を聞いた時の印象
- ★人物重視の採用試験

先輩が語る仕事の話

★市 HP の職員採用ページにも詳細に掲載していますのでご覧ください★

都市局 住宅・建築室 営繕課
上田 紋也 (機械職)

平成30年入庁



志望動機・きっかけについて教えてください

自分の子の誕生を機に、日常生活の中で、独身の時には気にならなかった”人々の暮らしやすさや安全”についてよく考えるようになりました。「こんな制度や施設があれば…」、あるいは「街にはこんな危険な場所があるのか…」など、身の周りの暮らしや環境に目を向ける機会が次第に増え、人々の生活を支える市の取組みや政策に興味を持つようになりました。自分も人々の生活を支える仕事がしたいと思い、市役所への転職を志望しました。

平成29年入庁

都市局 下水道室 下水道施設課
松盛 聖子 (環境職)



仕事のやりがい、魅力、苦労話などについて教えてください

明石市で働く魅力は、様々な業務に携わることができることだと感じています。今年から下水道室の広報委員をしており、最初は、できるだろうかと不安な面もありましたが、いざやってみると、本当に楽しくやりがいのある仕事です。市民の方々にとって、なじみの薄い下水処理の仕組みを分かりやすく伝えるため、職種や立場の違う職員の方々とは話し合いながら企画を練っています。今年、マンホールカードの発行や夏休み親子見学会の実施など、新たな広報にも挑戦しました。技術職員ならではの視点で、明石市の未来を担う子どもたちに下水道の大切さを伝えていきます。

都市局 住宅・建築室 開発審査課
大河原 倫亮 (建築職)

これから入庁してくる人へのメッセージ

平成30年度から明石市は中核市となり、従来より様々な事務を市で行えるとともに、また、市の施策の成果もあり、少子高齢化の中、人口は少しずつ増えている状況です。

開発審査課の業務においても、明石市の新たな開発需要・住宅需要が高いため、毎年、開発許可の件数が増えています。

ぜひ皆さんも明石市の勢いを一緒に肌で感じながら、明石をより良い街にすべく共に発展させていきませんか。

平成23年入庁
(写真右)



都市局 都市整備室 都市総務課
小林 奈波 (土木職)

平成27年入庁



仕事のやりがい、魅力、苦労話などについて教えてください

入庁1年目のときは、わからない言葉が多く飛び交い、聞き取るだけで必死でしたが、届出処理や窓口・電話対応といったいろいろな業務を経験し、知識量が増えているのを感じています。

地域の会議に出席したり、説明会を行う機会もあり、市民の方々との接し方や話の進め方など経験から学べる機会が多く、やりがいを感じています。

仕事を進める上で、法律の知識や状況に応じた判断力が求められ、苦労することも多々ありますが、上司や先輩と議論をする機会も多く、育ったわがまち明石の将来について考えることのできる、素晴らしい仕事だと感じています。

お問い合わせ先

明石市総務局職員室 (職員担当)

〒673-8686 明石市中崎1丁目5番1号

(TEL) 078-918-5006 (FAX) 078-918-5145

(ホームページ) <https://www.city.akashi.lg.jp/>

(メールアドレス) jinji@city.akashi.lg.jp

<製作・編集>：明石市 技術職員の能力開発推進委員会

